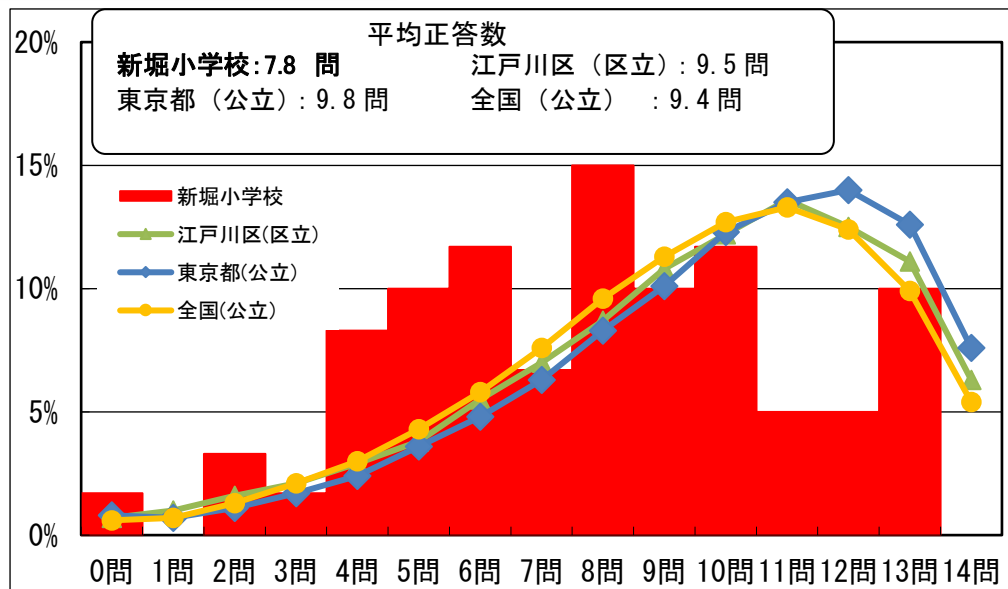


令和7年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【国語】 新堀小学校

正 答 数 分 布



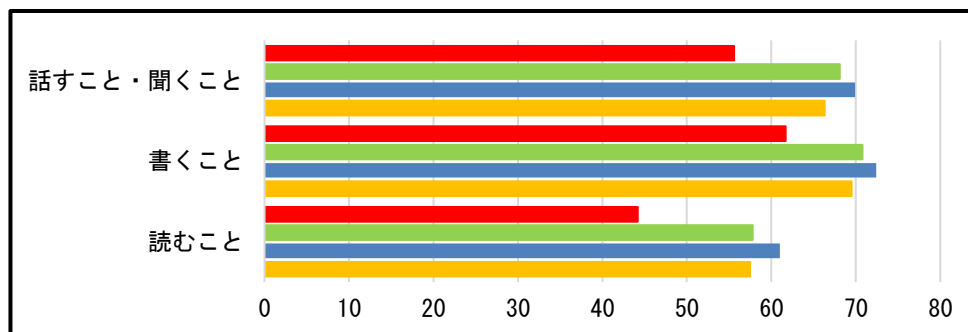
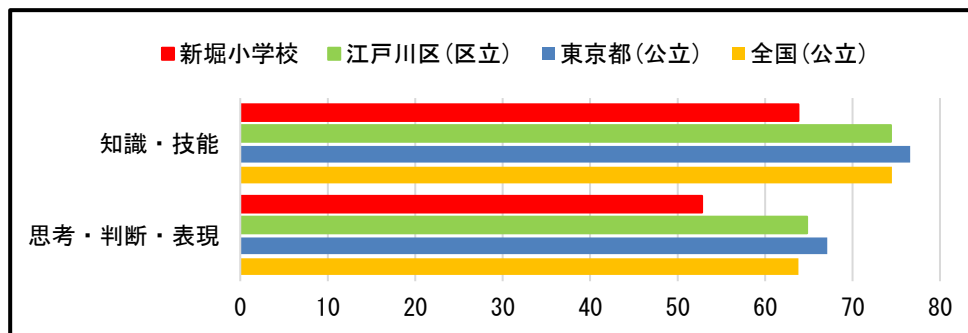
＜四分位における割合(都全体の四分位による)＞

上位 ← → 下位

国 語	A 層 12～14 問	B 層 10～11 問	C 層 8～9 問	D 層 0～7 問
新堀小学校	15.0	16.7	25.0	43.4
江戸川区 (区立)	30.0	25.8	19.5	24.7
東京都 (公立)	34.4	25.8	18.4	21.1
全国 (公立)	27.7	26.0	20.9	25.4

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の 1/4、2/4、3/4 にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。上の表では、四分位によって児童を A、B、C、D 層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都 (公立) のデータを基に定めている。

「領域別」の結果



【平均正答率の差】

新堀小学校	56%
江戸川区 (区立)	68%
東京都 (公立)	70%
全国 (公立)	66.8%
都との差	-14 ポイント

%

【分析結果と授業改善に向けて】

＜分析＞平均正答率 56%は、都より 14 ポイント低い。D層は約 43%で他の層と比べて最も多い。「読むこと」が 44.2%と苦手としている。

＜授業改善＞授業の中で音読の時間を確保し、正確に読む力を養う。児童の意見を基に学習課題や読む目的を設定し、目的意識をもって文章を読ませる。文章を読んで感じたことや考えたことを 100 字程度で書く学習を継続的に行い、文章を読み解く力や自分の考えを表現する力を育成する。